

## 【日経225オプション取引】

日経平均株価を対象とした株価指数オプション取引です。

将来の特定日に（SQ日に）日経平均株価を特定の価格（権利行使価格）で買える（コールの場合）又は売れる（プットの場合）権利の取引です。

オプションの売建ては、権利を買い手に売った代金（プレミアム料）を受け取り最終期日まで建玉を持ち越し、買い手の権利行使が行われた場合には、損金を支払う必要があるため、証拠金を差し入れる必要があります。オプションの買建ては、売り手から権利を買付ける代金（プレミアム料）を支払うことで、取引を行うことができます。建玉を最終期日まで持ち越し、手数料等を含めて利益が発生する場合に限り自動的に権利行使が行われます。

投資に際しては、取扱商品・手数料などホームページの記載事項や契約締結前交付書面をよくお読みいただき商品・取引の仕組みやリスクなどを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

## 【日経225オプション取引について】

市場の状況によって、制限値幅が拡大されることがあるため、1日の損失が予想を上回る恐れがあります。

日経225オプションは、日経平均株価を対象としているため、価格は日経平均株価の変動に影響を受け、損失が生じる恐れがあります。また、その損失が、預託した証拠金の額を上回る恐れがあります。（日経225オプション買建除く）

# 目次

- 1 P . . . 株価指数オプション取引とは？
- 2 P . . . オプション取引について
- 3 P . . . 取引時間は？
- 4 P . . . 期日・限月とは？
- 5 P . . . 決済方法は？
- 6 P . . . 権利行使による決済（1）
- 7 P . . . 権利行使による決済（2）
- 8 P . . . 諸経費は？
- 9 P . . . 取引に必要な証拠金額計算の考え方
- 10 P . . . 預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出
- 11 P . . . 建玉に係る証拠金所要額および新規建可能数量の計算方法
- 12 P . . . 評価損発生の際の管理の仕方を覚えよう！
- 13 P . . . 日経225オプション取引の活用方法
- 14 P . . . 口座を開設するには？

# 株価指数オプション取引とは？

オプション取引とは、現時点で将来の売買を約束する選択権を売買する取引です。例えば、6ヶ月後に『ある商品』を1万円で買う(コール)/売る(プット)といった選択権を、現時点5円で取引を行うことです。

オプション取引には『期日』があります。その期日までの間は、いつでもオプション(選択権)を反対売買により決済することができます(期日が到来し、買い手に利益がでるときに限り自動的に権利行使が行われ、売り手はそれに応じて買い手に益金を支払わなければなりません)。未決済の取引のことを『建玉』と呼びます。

決済時には、買いの取引代金と売りの取引代金との差額(=損益)の受渡が行われます(=差金決済)。

オプションの買い手は、オプション価格(プレミアム)を支払って、一般的には期日までに、オプションを売るか、または自分に有利なときには権利行使、不利なときには権利放棄することができます。

一方、オプションの売り手は、期日までにオプションを買い戻すか、または買い手から受け取ったプレミアムの見返りに、買い手の権利行使に必ず応じる義務を負います。

オプションの買い手は、損失が取引契約時(新規建て時)のプレミアムに限定されるので、証拠金の必要はありません。売り手の場合には、買い手の権利行使が行われた場合には、売り手の利益となるプレミアム料に比べて多額の損失を生じることがあります。そのため『証拠金』という担保を差し入れることにより、取引ができます。(証拠金はあくまでも担保であり、売り代金ではありません。)

株価指数オプション取引とは、株価指数(日経平均株価やTOPIXなど)を対象としたオプション取引です。

当社では、日経平均株価(日経225)を対象に、その1,000倍を取引単位として、権利行使日が取引最終日の翌日に限定された「日経225オプション取引」をお取引いただけます。

# オプション取引について

## ◆オプション取引口座の種類

### 日経平均株価先物・オプション取引口座

先物取引、及びプットとコールの新規売建／買建両方がお取引可能な口座です。証拠金は先物取引を含めて管理されます。

## ◆取引条件等

日経225オプションの売/買	売建	買建
取引単位	1,000 倍	1,000 倍
新規建て時に必要な資金	プライス・スキャンレンジの1.2倍 (1単位当たり弊社規定証拠金) ※1万円未満切り上げ ※最低 50 万円	プレミアム価格×枚数×取引単位 (1,000 倍) + 手数料・消費税
上限枚数	1 注文当たり . . . 30 枚 総建玉枚数 . . . 30 枚 総建玉上限金額 . . . 20 億円	1 注文あたり 50 枚

# 取引時間は？



(※) 弊社では、「夜間立会取引(ナイトセッション)」(16:30～翌日5:30の取引)は、お取り扱いしておりません。

		日中立会	取引ルール
①	プレ・オープニング	8:00～9:00	注文のみを受け付けて <b>マッチングを行わない</b>
	マッチング	9:00	板寄せ方式による <b>マッチングを行う</b>
②	ザラバ	9:00～15:10	現行と同じザラバ方式による取引が原則
③	プレ・クロージング	15:10～15:15	注文のみを受け付けて <b>マッチングを行わない</b>
	マッチング	15:15	板寄せ方式による <b>マッチングを行う</b>

※1) プレ・クロージングとは、日中立会のザラバ取引を15時10分までとし、その後5分間、注文のみを受け付け、マッチングは行わない時間帯を設け、15時15分に板寄せが行われます。

※2) 日中立会の取引終了時刻は全商品(日経225先物/mini, 日経225オプション)で15時15分となります。

# 期日・限月とは？

## 限月取引

オプション取引は、定められた期日まで行われます。それは毎月第二金曜日の前日を取引最終日として区分されます。これを限月取引といいます。

日経平均(日経225)オプション取引を例にすると、3月、6月、9月及び12月のうち、(1)5年先までの6月と12月の10限月と、(2)1年6か月先までの3月と9月の3限月に加え、(3)3月、6月、9月及び12月以外の直近6限月の合計19の限月取引が並行して行われます。

一例として、平成26年3月末時点で設定されている限月取引は以下のようになります。

	平成26年			27年		28年	29年	30年	31年
平成26年 3月限SQ日～ 4月限取引最終日					3月限				
	4月限	5月限	6月限		6月限	6月限	6月限	6月限	
	7月限	8月限	9月限		9月限				
	10月限	11月限	12月限		12月限	12月限	12月限	12月限	

青：3月、6月、9月及び12月のうち、5年先までの6月と12月の10限月

緑：3月、6月、9月及び12月のうち、1年6か月先までの3月と9月の3限月

黄：3月、6月、9月及び12月以外の直近6限月

また、1つの限月取引が終了すると、その翌日から新しい限月取引が設定されるので、常に19の限月取引が行われることとなります。

※取引最終日を迎える限月取引は、日中取引をもって終了となります。また、新たに設定される限月は、SQ日の日中取引から取引を開始します。

したがって、取引最終日の日中取引終了後に開始するナイト・セッションにおいては、18限月となります。

# 決済方法は？

建玉の決済方法は、期日までにオプションの反対売買を行う方法と期日まで決済しない方法があります。期日まで決済しなかった場合には、満期日に計算される特別清算指数(SQ:スペシャル・クォーテーション)から権利の自動行使、または自動消滅となります。

反対売買による方法は、オプションのプレミアム価格の時価と建て単価により**差金決済**となります。

SQにより決済する方法は、買方が手数料も含めて、**インザマネー**(SQと権利行使価格の差額分で利益がでる)の場合には権利が**自動行使**され、**アットザマネー**(SQと権利行使価格が一致する)と**アウトオブザマネー**(SQと権利行使価格の差額分で損失がでる)の場合には権利が**自動消滅**となります。そのオプションの売方は、買方の権利が自動行使された場合には損金を支払うことになり、買方の権利が自動消滅した場合にはプレミアム分を利益として受け取ります。

## 1) 反対売買により決済

注)手数料は考慮していません。

例) 日経225オプションの権利行使価格15,500円のコールを1枚90円のプレミアム価格で買建て、95円で転売する場合

$$(95円 - 90円) \times 1,000 \times 1枚 = 5,000円 \quad \text{5,000円の利益}$$

## 2) SQにより決済

SQ値は、満期日における日経平均株価の各構成銘柄の始値により算出されます。通常の日経平均株価は気配値段も加えて算出されるため、**SQ値と日経平均株価の始値は異なります**。SQ値は、その日の取引終了後に発表されます。

	権利行使価格とSQ	買方	売方
コール オプション	インザマネー：権利行使価格 < SQ	権利行使：(SQ - 権利行使価格)の利益を受け取る	(SQ - 権利行使価格)の損金を支払う
	アットザマネー：権利行使価格 = SQ アウトオブザマネー：権利行使価格 > SQ	権利放棄(権利消滅)	買方の権利放棄(権利消滅)により、プレミアム料分が利益として確定
プット オプション	インザマネー：権利行使価格 > SQ	権利行使：(権利行使価格 - SQ)の利益を受け取る	(権利行使価格 - SQ)の損金を支払う
	アットザマネー：権利行使価格 = SQ アウトオブザマネー：権利行使価格 < SQ	権利放棄(権利消滅)	買方の権利放棄(権利消滅)により、プレミアム料分が利益として確定

# 権利行使による決済（1）

買方がインザマネーの場合には権利行使が行われ差金決済により益金を受け取り、売方の場合には差金決済により損金を支払います。

※アットザマネー、アウトオブザマネーのときは、買方は権利が自動消滅し、損失はプレミアム料のみとなります。他方、売方の場合にはプレミアム料が利益となります。

## 例)SQが15,500円の場合

◆コールオプション(インザマネー：権利行使価格 < SQ ) 注)手数料は考慮しておりません。

	権利行使価格とSQ	買 方	売 方
コール オプション	インザマネー：権利行使価格 < SQ	権利行使：(SQ－権利行使価格)の利益を受け取る ※①	(SQ－権利行使価格)の損金を支払う ※②
	アットザマネー：権利行使価格 = SQ アウトオブザマネー：権利行使価格 > SQ	権利放棄	買方の権利放棄により、 プレミアム料分が利益として確定

買 方	売 方
<p>※①日経225オプションの権利行使価格15,000円のコールを1枚買建てSQが15,500円になった。 買建時：9万円のプレミアム料支払い 90円(90円×1,000=90,000円)のプレミアム料 (15,500円－15,000円)×1000×1枚=+500,000円 <b>決済損益：50万円(決済代金)－9万円(プレミアム料) =41万円</b> <b>41万円の益金を受け取る</b></p>	<p>※②日経225オプションの権利行使価格15,000円のコールを1枚売建てSQが15,500円になった。 売建時：9万円のプレミアム料受け取り 90円(90円×1,000=90,000円)のプレミアム料 (15,000円－15,500円)×1000×1枚=-500,000円 <b>決済損益：-50万円(決済代金)+9万円(プレミアム料) =-41万円</b> <b>41万円の損金を支払う</b></p>



# 権利行使による決済（2）

買方がアットザマネー、アウトオブザマネーの場合には権利行使が行われ権利が自動消滅し、売方の場合にはプレミアム料のみ益金として受け取ります。

※インザマネーのときは、買い方が差金決済により益金を受け取ります。他方、売方は差金決済により損金を支払うこととなります。

## 例)SQが15,500円の場合

◆プットオプション(アウトオブザマネー：権利行使価格 < SQ) 注)手数料は考慮しておりません。

	権利行使価格とSQ	買 方	売 方
プット オプション	インザマネー：権利行使価格 > SQ	権利行使：(権利行使価格 - SQ)の利益を受け取る。	(権利行使価格 - SQ)の損金を支払う。
	アットザマネー：権利行使価格 = SQ アウトオブザマネー：権利行使価格 < SQ	権利放棄 ※①	買方の権利放棄により、プレミアム料分が利益として確定 ※②

買 方	売 方
<p>※①日経225オプションの権利行使価格15,000円のプットを1枚買建てSQが15,500円になった。 買建時:9万円のプレミアム料支払い 90円(90円 × 1,000 = 90,000円)のプレミアム料 SQ決済時:権利放棄 (15,000円 - 15,500円) × 1000 × 1枚 = -500,000円 買建時の9万円の損金の支払のみ</p>	<p>※②日経225オプションの権利行使価格15,000円のプットを1枚売建てSQが15,500円になった。 売建時:9万円のプレミアム料受取り 90円(90円 × 1,000 = 90,000円)のプレミアム料 SQ決済時:権利消滅 (15,500円 - 15,000円) × 1000 × 1枚 = +500,000円 売建時の9万円の益金を受け取りのみ</p>

# 諸経費は？

## ◆手数料

日経225オプション
約定代金 × 0.108% (最低162円)

■税込み。(円未満切捨て)

## ◆弊社オンライントレードにおける規定証拠金

売建て	買建て
1単位当たりプライス・スキャンレンジの1.2倍 ※ 1万円未満切り上げ ※ 最低50万円	なし

- 取引に際しては、あらかじめ必要となる額を証拠金に振り替えていただく必要があります。
- 証拠金は現金のみです。株券等による代用はできません。
- 規定証拠金は立花ストックハウス証券取引ログイン後のお知らせ欄に掲載しています。
- プライス・スキャンレンジは、クリアリング機構において週1回更新されるため、弊社規定証拠金も週1回更新を行います。

# 取引に必要な証拠金額計算の考え方

仮に同限月・同枚数のコール売り建玉・プット売り建玉がある場合に、そのまま満期日が到来すると、両方ともにSQ値で自動決済されるため、損益は確定されていることとなります。

(例えば同じ限月のコール売り建玉、プット売り建玉が1枚ずつある場合、満期日には、両方同じSQ値で決済されます。)

また、異なる限月であっても、近い方の満期日までは、損益がほぼ確定されていると考えることができます。

この考えを基に、弊社オンライントレードでは、限月にかかわらず『**コール売建玉とプット売建玉の多い方の枚数**』分の**証拠金を、証拠金として必要な額(=証拠金所要額)**としています。

なお、売り建玉のプレミアム価格分は決済されてから利益として確定されるので、その清算値段を証拠金所要額として含めています。

## 例) 日経225オプション1枚あたり規定証拠金を65万円とした場合

コール売建玉	プット売建玉	売建玉の清算値段 (売建玉の証拠金算定基準値段)	証拠金所要額
3枚	1枚	4枚 × 90円 × 1,000 = 360,000円	コール売建玉3枚、プット売建玉1枚なので、 (3枚 × 65万円) + 36万円 = <b>231万円</b>

■ 現在保有するコール、プットの売建玉のプレミアム清算値段を90円/枚と仮定しています。

証拠金所要額と、証拠金として差し入れていただいている額(= **受入証拠金残**)とを比較して、**受入証拠金残が不足している場合には、『証拠金不足』のため、証拠金の追加差し入れが必要となります。**

『**受入証拠金残**』は、当日の取引終了後の値洗いにより発生した**評価損益も加減して算出**しますので、建てた時は証拠金が足りていても、その後の相場変動により評価損が発生すれば、追加証拠金の差し入れが必要となります。

# 預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出

例) 300万円を証拠金として差し入れると、何枚の取引ができるか？

日経225オプション売り建ての規定証拠金(1枚あたり)・・・62万円  
の場合。

## ・新規建て可能数量

$$\text{日経225オプション: } 300\text{万円} \div 62\text{万円} = 4.83\cdots = \mathbf{4\text{枚}}$$

※手数料・消費税は、新規建て分・決済分、まとめて『**決済時**』に損金として計上されます。

# 建玉に係る証拠金所要額および新規建可能数量の計算方法

例) 受入証拠金残300万円。日経225オプション売り建ての規定証拠金62万円。下表の建玉がある。

銘柄	権利行使価格	数量	新規建て プレミアム単価	評価損益	プレミアムの 理論価格	売り建玉の清算値段
コール 9月限月	15,500円	3枚	300円	0円	300円	300円 × 1,000 × 3枚 = 90万円
プット 12月限月	16,000円	1枚	100円	0円	100円	100円 × 1,000 × 1枚 = 10万円

注) 手数料等は 考慮していません

## ・証拠金所要額(=証拠金として必要な額)

$$\begin{array}{rclclclcl}
 \text{コールとプットの大きい方の枚数} & \times & \text{規定証拠金} & + & \text{売り建玉の清算値段} & = & \text{証拠金所要額} \\
 3\text{枚} & \times & 62\text{円} & + & 100\text{万円} & = & 286\text{万円}
 \end{array}$$

## ∴ 追加証拠金発生まで

$$\begin{array}{rclclcl}
 \text{受入証拠金残} & - & \text{証拠金所要額} & = & \text{追加証拠金が発生するまでの余力} \\
 300\text{万円} & - & 286\text{万円} & = & 14\text{万円}
 \end{array}$$

## ・新規建可能数量

$$\begin{array}{rclclclcl}
 \text{受入証拠金残} & \div & \text{規定証拠金} & - & \text{既建玉枚数} & = & \text{可能枚数} \\
 \text{コール売建可能数量} & 300\text{万円} & \div & 62\text{万円} & - & 3 & = & 1.838 \dots & (1\text{枚}) \\
 \text{プット売建可能数量} & 300\text{万円} & \div & 62\text{万円} & - & 1 & = & 3.838 \dots & (3\text{枚})
 \end{array}$$

次のページでは、評価損が発生した場合を見てください。→

# 評価損発生の際の管理の仕方を覚えよう！

前ページのまま大引けを迎え、値洗いにより評価損が発生した場合。

銘柄	権利行使価格	数量	新規建て プレミアム単価	時価	評価損益
コール 9月限	15,500円	3枚	300円	100円	$(100円 - 300円) \times 1,000 \times 3枚 = -60万円$
プット 12月限	16,000円	1枚	100円	200円	$(200円 - 100円) \times 1,000 \times 1枚 = +10万円$

注)手数料等は考慮していません

## ・証拠金所要額(=証拠金として必要な額)

$$\begin{array}{rclclcl}
 \text{コールとプットの大きい方の枚数} & \times & \text{規定証拠金} & + & \text{売り建玉の清算値段} & = & \text{証拠金所要額} \\
 3枚 & \times & 62円 & + & 100万円 & = & 286万円
 \end{array}$$

## ∴追加証拠金発生までの余力

$$\begin{array}{rclclcl}
 \text{受入証拠金残} & + & \text{評価損益} & - & \text{証拠金所要額} & = & \text{追加証拠金が発生するまでの余力} \\
 300万円 & + & (10万円 - 60万円) & - & 286万円 & = & -36万円
 \end{array}$$

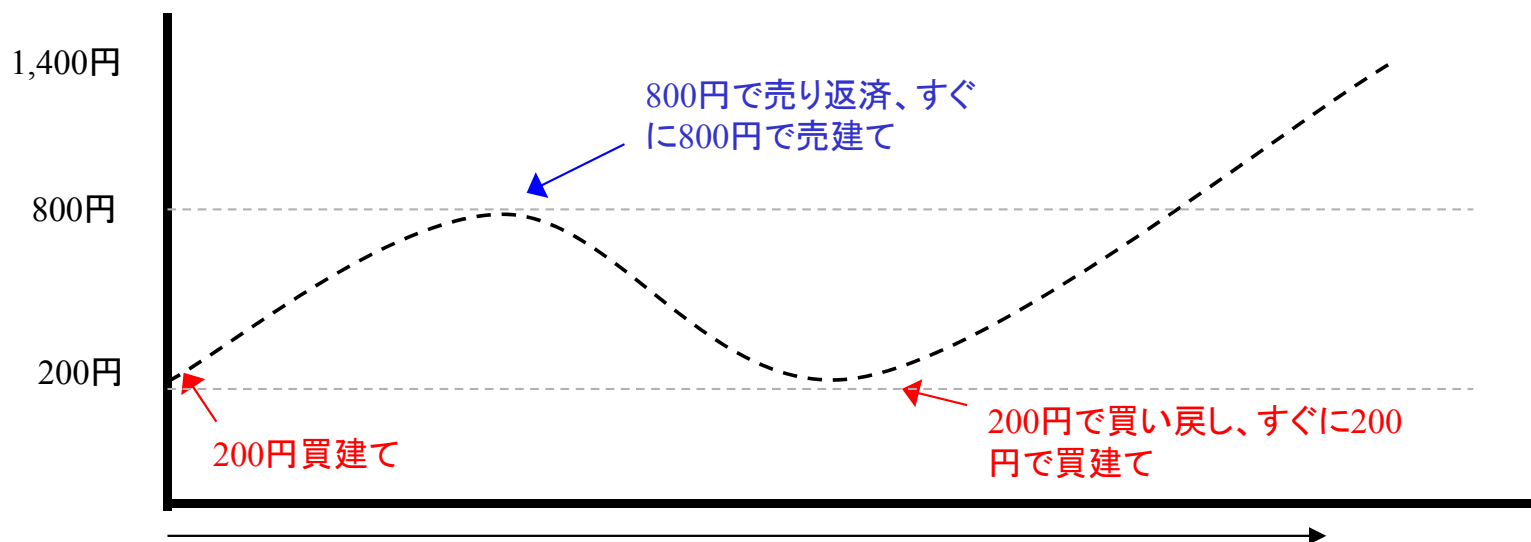
36万円の証拠金不足が発生。  
翌営業日正午までにお振り込みいただき証拠金にお振替する必要があります。

# 日経225オプション取引の活用方法

現物取引では、いわゆる『日計りルール』により、同一日に買い→売りを行うと、その売却代金は同日中の同一銘柄の買付には使用できません。

日経225オプションでは、『差金決済』が認められているため、**同一の資金で何回転でも同一銘柄(限月)の取引ができます**。例えば1枚分の証拠金があれば、下図のような『**買建て→売り返済・すぐに売建て→買い戻し...**』というような取引が可能です。

※実際には、**決済損益は、決済約定時点で証拠金から加減されます**。また、**手数料・消費税は、決済約定時に、新規建て分・決済分、まとめて損金として計上されます**。



# 口座を開設するには？

オプション取引は多額の利益が得られることがある反面、多額の損失を被る(預託した証拠金以上の損失が生じる)危険性を併せ持つ取引です。そのため、相応の知識があると当社が認めた場合のみ、口座開設が可能となります。

- ①すでに当社に立花ストックハウス証券総合取引口座 又は、立花ストックハウス法人総合取引口座を開設していること。
- ②原則20歳以上75歳未満であること。
- ③先物・オプション取引の経験があること。または株式投資の経験があり、先物・オプション取引の知識があること。
- ④「先物・オプション取引口座設定約諾書」「指数先物・オプション取引契約締結前交付書面に関する確認書」を差入れていただくこと。
- ⑤先物・オプション取引制度、弊社の取引ルール、先物・オプション取引のリスク等を理解し、本規定及び「先物・オプション取引口座設定約諾書」等の内容を承諾していること。
- ⑥住所、電話番号、生年月日、職業（勤務先を含む）等当社の定める事項が正しく登録されていること。
- ⑦電話又は電子メールにより、直接連絡が常時取りうること。

お客様のご入力いただいた内容をもとに社内審査を行いますが、必要に応じ電話審査を実施させていただく場合があります。また、当社の先物・オプション取引口座開設基準条件を満たしている場合でも、口座開設を承ることができない場合があります。お客様のご希望に添えない場合の事由については開示いたしませんので、あらかじめご了承ください。